

2023 年度(令和 5 年度)ケーブルテレビ栃木

放送番組審議会 議事録 (ゆうがおチャンネル)

1. 開催日時 2024 年 3 月 5 日 (火) 14:00～15:10

2. 開催場所 下野市石橋公民館 会議室

3. 出席委員 審議委員総数 11 名
出席委員数 7 名 (随員 2 名)

■出席者 (敬称略)

小 菅 一 弥	会 長 (壬生町長)
坂 村 哲 也	副 会 長 (下野市長)
猪 瀬 正 則	代理出席 (下野市商工会 事務局長)
高 橋 良 輔	代理出席 (下野警察署生活安全課長)
松 本 英 子	委 員 (壬生町女性団体連絡協議会 会長)
舘 野 弥 生	委 員 (下野市男女共同参画推進委員会委員)
野 澤 知 春	代理出席 (上三川町企画課情報広報係主査)

■ケーブルテレビ株式会社 出席 7 名

高 田 光 浩	(代表取締役社長)
中 沢 利樹男	(常務取締役)
杉 山 知 也	(下野センター局長)
今 泉 勉	(コンテンツ部地域プロモーション課課長)
安 生 恵 子	(コンテンツ部地域プロモーション課栃木 TV グループ長)
田部井 肇 子	(コンテンツ部地域プロモーション課係長)
小 林 満那子	(コンテンツ部地域プロモーション課主任)

4. 報告事項

【全体】

- (1) 新委員の委嘱に関する報告
- (2) 放送エリア及び加入状況に関する報告
- (3) ケーブルテレビ(株)の取り組みに関する報告
- (4) 前回の審議会での指摘・進捗報告

質問・意見・回答

- 【委員】 ケーブルテレビの加入状況と、次年度以降の目標・加入促進策などがあれば教えてほしい。
- 【CATV】 加入状況としては、下野市が、共同アンテナエリアのグリーンタウンがあるため、加入3割超ではあるが、壬生町、上三川町は2割程度にとどまる。
加入促進活動として、4県6市6町のエリアでスタッフが各家庭にご案内の訪問をしている。再訪のタイミングは約1年後。
地域密着企業の強みを生かし、加入後も安心してお使いいただけるようサポート体制もしっかりと整え、ご紹介いただける方を増やすなどし、5年以内に3割程度の加入を目指したい。
災害報道、防災減災につなげるためにも、より多くの方にご覧いただく、それがコミュニティチャンネルの価値であると考えている。コミュニティチャンネルが加入促進の要であると考えているため、さらなる充実を図りたい。
- 【委員】 加入促進について何か具体的に我々が協力できることはあるか。
- 【CATV】 例えば、ある自治体では、利用料は個人負担とし、自治体が高齢者向けにケーブルテレビの初期導入費を補助、災害時にケーブルテレビを活用いただく環境を整えている。今後、担当課にご案内させていただく。
- 【委員】 壬生町は高齢者が多い。ケーブルテレビはお金を払わないと見られないというのがある。ケーブルテレビの訪問時は、担当業務以外はわからないと回答されたケースもある。
- 【委員】 能登半島地震を契機に、どう我々が情報を得るか、考える機会となった。ケーブルテレビは加入にお金がかかるが、市町の後押しは必要だと考える。

【コミュニティチャンネル関連】

- (1) 2023年度の取り組み
- (2) チャンネル構成
- (3) 主なレギュラー番組
- (4) 主な特別番組

質問・意見・回答

- 【委員】 ライフチャンネルの定点カメラは、現在何か所くらいあるのか？
- 【CATV】 上三川町で2台(田川・川中子橋/鬼怒川・鬼怒川橋)、下野市で1台(姿川・細谷橋)、壬生町で1台(姿川・淀橋)を設置している。
道路の混雑状況や河川の増水状況が把握できるよう、カメラの増設を今後も検討していく。
- 【委員】 大雨の際は、刻一刻と河川が増水していく様子が映し出されている。
ライフチャンネルは有事に必要なチャンネルだと思う。

- 【CATV】 定点カメラをより多くの方に利用いただくため、スマートフォンやタブレット端末で使える防災アプリ「きゅーちゃんナビ」で、遠隔地でもケーブルテレビ未加入者でも定点カメラの画像が見られるようにしている。
- 今後は自治体の協力を得て、より多くのカメラを設置するとともに、水位上昇をグラフ等で表示する準備を進めている。また、避難所の混雑状況等の把握もできるよう発展させていきたいと考えている。
- 【委員】 防災上、河川の水位を気にしている。特に姿川は宇都宮の住宅街から水がでるので急激に水位が上昇する。黒川は、日光方面が大雨の際、6時間後に増水する。一般の方もそういう見方をすると非常に有効な画像である。
- もっとPRしていったほしいと思う。
- 【委員】 字幕放送の強化について、字幕があるとわかりやすいのでどんどん増やしていったほしいと思う。また、スポーツ放送も強化していると思うが、野球やサッカーに留まらず、幅広い話題を取り上げていったほしいと思う。
- 【委員】 視覚障がい者向けの対応は何か具体的にあるか？
- 【CATV】 下野市、栃木市ともにコミュニティFMがあり、協力しながら放送している。コミュニティFMは、災害時に誰でも聞くことができるメディアなので、テレビの情報と連携を図りながら、いざというとき、視覚障がい者の方にも伝わるよう、映像・音声両方で、状況が伝えられるよう取り組んでいく。
- 【委員】 年齢を重ねると聴力の衰える方も増えてくるので、字幕放送など高齢者にも配慮した放送を進めてほしい。

5. 議事

(1) ご視聴番組に対してのご意見・ご質問

- 【委員】 取材情報はどのように得ているか。
- 【CATV】 プレスリリースや広報しもつけ等を参考にしている。
- 市民・町民の方からの情報提供も取材活動に役立てている。
- 【委員】 自治体として情報発信不足を感じている。
- 近隣の自治体の取り組みが素晴らしいことが放送を通じて伝わった。見習わなくてはならないと思う。地元のすばらしい企画を積極的に投げかけ、連携し、地域のよい情報を市民にお届けしていきたいと思う。
- 【委員】 感想になるが1市2町の心温まる豊かな話題が多かった。鳥居家と壬生町について、県内にこんな歴史があったのだと歴史探訪として改めて知ることができた。見てもらうきっかけを増やすという点では、女性や子どもが登場する話題は有効だと思う。その点、「おおきくなったら」はさすが、30年を超える長寿番組なだけあると思った。
- 【委員】 地域の代表がすぐにケーブルテレビに連絡をし、取材依頼をする関係性が築けている。市民力を活用することで、地域の話題はどんどん広がる。

いろんなジャンルを取り上げ、誰も気づかないところに光を当ててもらいたい。

(2) コミュニティチャンネルに関する意見・感想

- 【委員】 栃木市では箱森交差点などの渋滞状況が定点カメラによってよくわかる。壬生町ではコストコ周辺は混雑するが、ほかの地域だとどんな場所で交通量が多いか。
- 【委員】 下野市だとコストコからの流れで関沢橋周辺、自治医大周辺の笹原、下古山交差点などは交通量が多い。
- 【委員】 上三川では、4号線のほか、下野警察署南側のアンダーなど。
- 【CATV】 例えば道の駅しもつけなど、駐車場を定点カメラで写せると参考になる人が多いのでは。
- 【委員】 日常生活で必要な画像が届けられれば、加入者も増えていくのでは。
- 【CATV】 各市町の広報誌で、情報提供を呼び掛けていきたい。

以上